

今後につなげよう 生物多様性 COP10の成果とは？

2010年10月18-29日に、生物多様性条約第10回締約国会議(CBD-COP10)が名古屋で開催されました。会場内では346の公式サイドイベント、会場外では多数のブースの展示、フォーラム、イベントが行われ、国内外から1万人を超える参加者数となりました。COP10では、ABS(遺伝資源へのアクセスと利益配分)、愛知ターゲット(新戦略計画)をはじめ45のテーマが決議されました。しかし、全体では、まだ地球温暖化ほど 生物多様性は市民の間に浸透していません。

今回のセミナーでは、市民の視点で、名古屋COP10について成果と課題、市民の関わり、保護地域や沿岸域・海洋の保全など、決議のポイントについて 講師の道家氏と清野氏にわかりやすく講演していただきます。

日 時： 2月5日(土) 午後6時～9時

場 所： 徳島大学工業会館2階

資料代： 500円



内容

1) CBD-COP10 成果と今後の課題について

講師: 道家哲平氏

日本自然保護協会(NACS-J) 保全研究部・国際担当、
IUCN(国際自然保護連合) 日本委員会事務局

2) CBD-COP10 海洋の生物多様性保全の成果と課題 及び 国内外の動向について

講師: 清野聡子氏

九州大学大学院工学研究院環境都市部門、准教授、農学修士(水産学) 工学博士(環境工学)
専門は、沿岸・流域環境保全学、水生生物学、生態工学

3) 質疑応答

主催：徳島大学環境防災研究センター 市民アクション徳島
共催：生物多様性とくしま会議 四国 CBD ネットワーク
問い合わせ先：090-7268-9448 takazann@hotmail.com

(市民アクション徳島事務局 藤永)

講師のプロフィール

道家哲平氏

日本自然保護協会 (NACS-J) 保全研究部・国際担当、IUCN (国際自然保護連合) 日本委員会事務局。生物多様性に関する国際動向を紹介する IUCN セミナーの企画運営・普及啓発などに携わる。生物多様性条約 (CBD) や 2010 年の CBD-COP10 に向けた NGO のネットワーク化に尽力中。生物多様性条約市民ネットワーク運営委員として COP10 に関わった。

清野聡子氏

九州大学大学院工学研究院環境都市部門、准教授、農学修士 (水産学)、工学博士 (環境工学)。専門は、沿岸・流域環境保全学、水生生物学、生態工学。特に、漁場の開発と保全の調整、希少生物生息地の再生、地域住民や市民の沿岸管理への参加、水関係の環境計画や法制度。地域の知恵や科学を活かした海洋保護区を研究。CBD-COP10 では、CBD 市民ネットワーク沿岸・海洋作業部会の部会長をつとめた。また、COP10 では、水産関係のイベントの主催、世界の海洋政策関係者の「オーシャンズ・デー・アット・ナゴヤ」で日本の環境政策と市民活動の報告なども行った。